



CAMBRIDGE ENGLISH
Language Assessment
Part of the University of Cambridge

Cambridge English Case Studies

ケンブリッジ大学英語検定機構による
グローバル・ケーススタディのご紹介



Cambridge English at a glance

ひとめでわかる『ケンブリッジ・イングリッシュ』

ケンブリッジ大学英語検定機構は100年以上の歴史を持つ、言語評価における世界のリーダーです。年間の受験者数は、130か国で計450万人以上にのぼります。

ケンブリッジ大学の非営利組織であり、欧州最大の評価機関であるケンブリッジ・アセスメント・グループの一部です。個人から国全体を対象としたシステムまで、効果的な言語教授と言語学習のための支援をあらゆるレベルで行っています。

ケンブリッジ大学英語検定（ケンブリッジ英検）には、小中学生から留学や就業を目的とした上級レベルまでの全レベルに応じた試験があり、また、ビジネス英語の専門的試験や、英語教師のための資格試験も用意されています。

英国ケンブリッジと世界25ヶ国にあるオフィスを拠点に、400人以上のスタッフが言語評価業務に献身的に取り組んでいます。欧州、アジア、南米に広がる地域拠点のネットワークによって、それぞれの地域に合った高水準のサポートを提供しています。また、米国、豪州、中東も地域オフィスがカバーしています。

さらに、共同事業を通じて、アメリカ英語、医学・金融・法律英語の試験も提供しています。世界的に有名なIELTSも、ケンブリッジで開発している試験です。

『ケンブリッジ・イングリッシュ』とは

ケンブリッジ大学英語検定機構は、ケンブリッジ大学出版局などのケンブリッジ大学の他部門と緊密に連携し、言語の学習・指導・評価のための、あらゆるレベルでの柔軟かつ統合的な取り組みを表す「ケンブリッジ・イングリッシュ」のコンセプトの実現に努めています。このケンブリッジ・イングリッシュの取り組みは、徹底した最新のコミュニケーション・アプローチを基礎として、さまざまな学術的・実践的な研究によって実証され、テスト提供機関の中でも世界最大の専門研究者チームによって運営されています。

政府の教育改革を支援

ケンブリッジ大学英語検定機構は、欧州、南米、アジア、中東の中央政府や地方自治体、欧州委員会などの国際機関とともに幅広く連携しています。多様なサービスを政府に提供することによって、あらゆる段階での教育改革の策定、計画、費用対効果の高い実現を支援しています。

なかでも、‘impact by design’（設計による高い効果）を重視する取り組みをしています。つまり、政策目標を効果的に実現させ、個々の学習者にも社会全体にも最大限の恩恵をもたらすように設計された構造的手法を用いています。

いくつかの事例をグローバル・ケーススタディとしてこの冊子でご紹介いたします。

言語政策と戦略

幅広いカリキュラムでの言語教育水準の設定

分析と診断

言語力監査とベンチマーキング研究、ニーズ分析および影響調査

カリキュラム改革

現行カリキュラムの国際基準に合わせた調整、新しいカリキュラムモデルの開発

教材とリソース

地域のニーズに応じて特別にデザインされ、オンライン学習やブレンディッド・ラーニング（従来の対面式授業とeラーニングを組み合わせた学習）による支援が可能な、デジタル教材および印刷された教材

教師の職能開発

教師の指導力の向上、言語運用能力の向上、国際的に認知された資格の提供

評価と認証

効果的学習を後押しする世界で認知された国際基準の資格

プログラム施行

継続的サポート・分析・評価による、教育改革プログラムの実施管理

お問い合わせ

ケンブリッジ大学英語検定機構

日本支部

Email: info@cambridgeenglish.or.jp

Tel: 080-5545-8969（日本支部代表）

Fax: 050-1271-2735

中等教育段階の英語力向上策にケンブリッジ英検を活用

国： **ポルトガル**
クライアント： **教育科学省 教育評価事務局**



ケンブリッジ大学英語検定機構とポルトガルの教育科学省は、ケンブリッジ大学英語検定試験(以降、ケンブリッジ英検)を活用して、中等教育段階の生徒の英語力を国際水準に引き上げることを目的とした大規模プロジェクトを立ち上げました。

2014年より開始されたこの共同事業は、EUで初めて行われた、ヨーロッパ言語能力調査（*European Survey on Language Competences*）での成績不振に対してすぐさまとられた対応策です。この調査の後、教育科学省はケンブリッジ大学英語検定機構に対してIAVE(教育評価局)と協力することを求め、その結果、ケンブリッジ英検:キー・フォー・スクールズ(*Cambridge English: Key for Schools*)が全国の9年生(日本の中学3年生に相当)全員が取得すべき資格として導入されることになりました。

ケンブリッジ英検:キー・フォー・スクールズは、生徒が言語学習を順調に開始し、身近な事柄について英語でやりとりができることを証明する基礎レベルの試験です。

ポルトガルの教育システムは、世界で初めてこのような形でケンブリッジ英検のキー・フォー・スクールズを取り入れました。キー・フォー・スクールズは、現在、基礎教育における生徒の診断評価 (diploma do ensino básico) として義務化されています。

2014年にポルトガル全土の1,000校以上でケンブリッジ英検:キー・フォー・スクールズの指導が始まり、毎年約10万人の生徒がこの試験を受験します。また、多数の受験者に対応するため、ポルトガル国内のスピーキングテスト用試験官やトレーナーの採用、試験の採点など、スムーズな試験運営実現の為の戦略への需要が高まっています。

IAVEは更に教師に対してもケンブリッジ英語教授知識認定テスト(TKT)を受験する機会を提供しています。

当プロジェクトの一環として、ケンブリッジ大学英語検定機構は、ポルトガルの学校や関連機関でのケンブリッジ英検:キー・フォー・スクールズの効果を検証する研究を開始しました。3年間(2014年-2016年)の研究を3段階に分け、受験者の成績、動機づけ、関係者の姿勢をマイクロレベル(学習と指導)と、学校、保護者、その他関係者を包括的にみるマクロレベルで調査します。

第一段階の研究は、アンケート調査、フォーカスグループ、聞き取り調査、テストデータの分析で構成され、改善が必要な分野の特定、成功のためのガイドラインの作成、次の2つの段階についての提言を行うことになっています。

‘The Portuguese education system is the first in the world to use a Cambridge English qualification as a mandatory exam’

「ポルトガルの教育システムは、世界で初めてこのような形でケンブリッジ英検:キー・フォー・スクールズを取り入れました」

ケンブリッジ英検を基準に英語力を設定、成果を出したチリ政府の取組み

国: チリ
クライアント: 教育省



ケンブリッジ大学英語検定機構は、チリの教育省と連携して、言語習得レベルのデータを集め、診断的な分析をおこなって、チリの“English Opens Doors (英語で道を開く)”プログラムの実証と改善に取り組みました。

2003年、チリの教育省は、教育システムの質と公平性を向上させる戦略のひとつとして、国家的英語プロジェクト「English Opens Doors (英語が道を開く)」を立ち上げました。

このプロジェクトのねらいの一つは、すべての公立学校の生徒の英語力を、小学校卒業までにケンブリッジ英検: キー(Key: CEFRでA2レベル)、高校修了までにケンブリッジ英検: プレリミナリー(Preliminary: B1レベル)と同等レベルまで到達させる、というものでした。

生徒の現在の英語能力を評価することが、この戦略の重要な第一段階でしたが、生徒のリスニング力とリーディング力をはかる診断テストの開発者としてケンブリッジ大学英語検定機構が選ばれました。

そして、ケンブリッジ大学英語検定機構は、自身の持つ国際的に広く試行され、検証された試験問題の蓄積データを元に、診断テストを開発しました。

このテストは、リーディングとリスニングの2部構成で、CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)に対応して作成されました。

2004年に8年生(13歳から14歳)の、12年生(17歳から18歳)の生徒12,000人がサンプルとして選ばれ、この診断テストを受けました。そして2008年、同様の条件で抽出した生徒にこの診断テストを実施して、その間の進捗状況を測定しました。

この測定結果の分析により、この4年間で英語能力が明らかに向上していることが示されました。そしてこれは、チリ教育省にとって“English Open Doors”戦略の一部として実施されたプログラムの成功を示す経験的証拠となりました。

また、テスト、アンケート調査、付随する生徒の追跡フォームなどを通じて集められたデータによって、学校の種類による結果の比較や、学校の財源や経営形態に照らした結果の比較も行うことができました。

“ Analysis of the results indicated there was a clear progression of English language proficiency. ”

「測定結果の分析により、英語能力が明らかに向上していることが示されました。」

学校カリキュラムに対応しているケンブリッジ英検をドイツ州教育省が認定

国: ドイツ
クライアント: バーデン=ヴュルテンベルク州、バイエルン州、ベルリン州
ノルトライン=ヴェストファーレン州、ザールランド州、ザクセン州の各教育省



ケンブリッジ大学英語検定機構は、ドイツの州教育省と連携して、州立学校の生徒にケンブリッジ大英検試験(ケンブリッジ英検)を提供しています。

ドイツの外国語能力評価基準は、ヨーロッパ共通言語参照枠(CEFR)と強く結びついており、現在では、多くの州政府の教育省がドイツ語能力の資格に加えて、外部試験を活用し英語運用力の認定を行っています。

ケンブリッジ大学英語検定機構はマッピングを実施し、ケンブリッジ英検がドイツでの語学学習の取り組みと高い互換性を持ち、また学校カリキュラムの各段階に応じた試験としての要件を満たしていることを示しました。

この結果、ケンブリッジ英検: プレリミナリー(PET: CEFRのB1レベル)、ケンブリッジ英検: ファースト(FCE: B2レベル)、ケンブリッジ英検: アドバンスト(CAE: C1レベル)が、任意に追加できる資格試験として多くの州立学校に導入されました。

初めての試験は、2001年にバーデン=ヴュルテンベルク州で9年生を対象に実施され、その後、試験の提供はドイツ全国に広がりました。たとえば、ノルトライン=ヴェストファーレン州では、2013年に数千人の生徒がケンブリッジ英検を受験しました。

また、これに加えて、ケンブリッジ大学英語検定機構は、先生を対象にテーラーメイドの支援と研修を無料で提供しています。

バーデン=ヴュルテンベルク州とバイエルン州では、スピーキングテスト試験官養成のための教員研修を支援しました。

単発の試験もよく実施されています。ベルリン州では、過去問題を利用して1万人以上の10年生の英語力の評価を行いました。

こうした学校向け大規模事業はケンブリッジのチームによって成功と評価されたことを受け、教育制度にケンブリッジ英検を取り入れる州がさらに増えつつあります。また、ケンブリッジ英検は、ドイツ連邦教育省の教育基準を記した文書にも正式に言及されています。

‘My students take Cambridge English: First for a variety of career-based reasons or simply for the structure and recognised achievement this certificate will offer them’
Susanna Akehurst,
Berlin School of English

「生徒がケンブリッジ英検のファーストを受験するのは、将来の就職に基づいたさまざまな理由であったり、ただ単純にテストの構成によるものかもしれないが、ファーストを持つことで得られる認知された達成感によるものと考えている」

スザンナ・アケハースト
ベルリン・スクール・オブ・イングリッシュ

国が卒業時達成すべき英語レベルを策定 – 国際競争力を高める「強み」としての英語

国: ベトナム

クライアント: ベトナム教育訓練省



ケンブリッジ大学英語検定機構は、国の競争力を高めるための取り組みの一環として、ベトナム政府教育訓練省(MOET)に対して**英語運用能力の基準(ベンチマーク)を策定する支援**を行っています。

MOET は、国際通商においてだけでなく、将来をにう子どもたちの就職事情改善のため、英語をベトナムの経済発展のためのカギと位置づけました。それを受けて、2009年 MOET は、生徒と教師両方の英語運用能力の基準を策定するための合意書にケンブリッジ大学英語検定機構とともに署名しました。

2008年にベトナム政府は初等教育から高等教育段階までの教育機関で卒業までに到達すべき英語力を定義するために、ヨーロッパ共通参照枠(CEFR)を使用することを正式に決定しました。また、このプロジェクトを通じて、ベトナムの学習者に国際資格として認定されているケンブリッジ英検を取得する機会を与えることになりました。

当プロジェクトを実施するために、ケンブリッジのチームは、MOETの国際協力・初等教育部と協力して活動しました。その結果、2010年には、ケンブリッジ国際児童英検のスターターズテスト(CEFRでPre-A1レベル)とムーバーズテスト(A1レベル)が、小学4年生と5年生の英語力の到達度テストとして推奨されるようになりました。

更に現在、ケンブリッジチームのアドバイスを受け、MOETは、CEFRでA1(初級)、A2、B1レベルをそれぞれ、小学校、中学校、高校で生徒が卒業までに取得すべき基準として採用しています。また、英語教師の英語力要件として、ケンブリッジ英検:ファースト(CEFRでB2レベル)を活用しています。

全体として、この共同事業は大きな成果を上げています。MOETの国立教育戦略・カリキュラム研究所の副所長であるニューウェン・ロク博士は、「これは戦略的な共同事業です。英語を、競争力を高めるための強みとすることを目的とし、ベトナムの英語教授、英語学習、英語力評価の改革過程に重要な役割を果たしています」と述べています。

'This is a strategic co-operation, playing a key role in the innovation process of English teaching, learning and assessment in Vietnam.'
Dr Nguyen Loc, Vice Director of MOET's National Institute for Educational Strategies and Curriculum

「これは戦略的な共同事業です。ベトナムでの英語教授、英語学習、英語力評価の改革過程に必要な役割を果たしています」

MOET 国立教育戦略・カリキュラム研究所副所長ニューウェン・ロク

英語運用能力テストの実施を支援

国: ベトナム

クライアント: ホーチミン市、ドンナイ省、カントー省、ラムドン省、カインホア省、ベンチエ省の教育訓練部門



ケンブリッジ大学英語検定機構は、ベトナムの6つの教育訓練局(DOAT)と連携し、ケンブリッジ英検の普及と提供について支援を行っています。

生徒の言語学習の機会を改善し、国際的な評価基準を満たす学習成果を上げるために、ケンブリッジ大学英語検定機構はベトナム各地域の教育訓練局と連携して、さまざまなケンブリッジ大学英語検定(ケンブリッジ英検)を提供しています。

この取り組みは、地域の小学生の英語力の定着を目的として、模擬試験と授業観察を用いた研究プロジェクトをホーチミン市の教育訓練局と行ったことから始まりました。

このプロジェクトが第一段階となり、2006年には、公立小学校と語学センターの生徒にケンブリッジ国際児童英検(旧 YLE テスト)を提供し、受験者登録と試験運営は教育訓練局が行うと定めた覚書をホーチミン市教育訓練局と交わしました。また、教育訓練局が行うスピーキングテスト用試験官の採用や研修を支援し、試験対策を行う学校の先生方へのサポートも実施しました。

同プログラムは大成功をおさめ、2010年11月からは、小学生は集中英語プログラム(2年次、4年次、5年次)終了後にケンブリッジ国際児童英検を受験することが義務付けられました。

ベトナム政府教育省は、国際児童英検:Starters(CEFRのA1レベル)を通常プログラムの生徒の場合、5年生修了時の英語力評価基準として採用しています。2010年から述べ13万人がケンブリッジ国際児童英検を受験しています。2012年から2013年の1年間で6万人が受験しました。

現在、ホーチミン以外に5つの地域(ドンナイ省、カントー省、ラムドン省、カインホア省、ベンチエ省)の教育訓練局がケンブリッジ英検を実施しています。

これらの地域では、初等教育、中等教育段階の生徒が、ケンブリッジ英検:キー(KET)、プレリミナリー(PET)、ファースト(FCE)などの試験を受験しています。このようにして、ホーチミン市郊外に住む生徒たちも、国際的に認知された試験を受験することができるようになりました。

'Cambridge English Language Assessment is working with six DOETs cross Vietnam delivering examinations to primary school students in state schools and language centres'
ケンブリッジ大学英語検定機構は、ベトナムの6つの省の教育訓練局と提携して、公立小学校や語学センターの小学生に試験を提供しています。



CAMBRIDGE ENGLISH
Language Assessment
Part of the University of Cambridge

Cambridge English
Language Assessment
1 Hills Road
Cambridge
CB1 2EU
United Kingdom

www.cambridgeenglish.org

お問い合わせ

ケンブリッジ大学英語検定機構 日本支部
Email: info@cambridgeenglish.or.jp
Tel: 080-5545-8969 (日本支部代表)
Fax: 050-1271- 2735
www.cambridgeenglish.org (English)
www.cambridgeenglish.org/jp (日本語)

Cambridge English Language Assessment is part of the University of Cambridge. We develop and produce the most valuable range of qualifications for learners and teachers of English in the world. Over 4 million people take Cambridge English exams each year in more than 130 countries. Around the world over 13,500 universities, employers, government ministries and other organisations rely on our exams and qualifications as proof of English language ability. Cambridge English exams are backed by the work of the largest dedicated research team of any English language test provider.

Cambridge English Language Assessment – a not-for-profit organisation.

